

会 議 録

会 議 名 称	平成 27 年度第 2 回大田区男女共同参画推進区民会議	
開 催 日 時	平成 27 年 10 月 13 日（火） 午後 5 時 30 分～午後 7 時 18 分	
会 場	大田区役所 HK-201 会議室	
出 席 委 員	12 名	
出席委員	選 出	役 職
萩原 なつ子	学識経験委員	立教大学社会学部社会学科教授 21 世紀社会デザイン研究科教授
大森 昭彦	大田区議会総務財政委員会	総務財政委員会委員長
小山 君子	大田区自治会連合会	大田区自治会連合会副会長 蒲田東地区自治会連合会会長
高見 淑恵	民生委員児童委員協議会	新井宿地区 民生委員児童委員協議会会長
寺田 篤子	商店街連合会	大田区商店街連合会女性部副部長
関 雅雄	工業連合会	大田区工業連合会副会長
本間 新一	東京労働局大森公共職業安定所	大森公共職業安定所雇用開発部長
原田 由季子	東京商工会議所大田支部	藤東造園建設株式会社代表取締役
加藤 芳夫	公募委員	
上森 雅世	公募委員	
西川 有理子	公募委員	
飯島 園美	公募委員	
欠席委員	選 出	役 職
伴 步	中学校PTA連合協議会	大田区立中学校PTA連合協議会会長
小泉 顕宏	東京人権擁護委員協議会	東京人権擁護委員協議会 大田地区人権擁護委員会代表
事務局	人権・男女平等推進課長 男女平等推進担当係長 人権・同和対策担当係長	

	男女平等推進担当主事
配 布 資 料	(資料1) 第4次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方(素案)概要 (資料2) 女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針の概要 (資料3) 第7期大田区男女共同参画推進プラン骨子案概要 (資料4) 第1回男女共同参画推進区民会議の結果と理念(案) (資料5) 第7期大田区男女共同参画推進プラン・体系(案)
議 題	1 開会 2 会長あいさつ 3 人権・男女平等推進課長あいさつ 4 資料の説明 5 第7期男女共同参画推進プラン策定について ①基本理念 ②施策体系 6 閉会
会 議 概 要	1 開会 2 会長あいさつ 3 人権・男女平等推進課長あいさつ 8月末に女性活躍推進法が成立し、動き出した。8月30日国連の日本事務所が文京区役所内に開設され、そのセレモニーに参列した。 (中略) 9月11日から10月9日まで大田区では区議会の定例会と監査特別委員会が開かれた。今日は大田区議会から大森先生にも参加していただいている。 また、パステルを秋号として発行したが、今までと装いを変え、著名な方のインタビューを入れ、区内で一生懸命仕事をしている人をレポートした。今回はエビナ電化工業の榎尾室長にお願いした。このような形で、国、都や区の動きをインフォメーションする。装いを新たにしたパステルをぜひ読んでいただきたい。 (中略) 区の計画をつくる時も、「区の」と言うよりは、「区民のみなさんの」計画であると肝に銘じて、これからも取り組んでいきたいと思っている。本日はよろしく願います。 小山、大森両副会長が出席されているが、大森副会長は大田区議会議員でもあり、一言ごあいさついただきたい。 (大森副会長あいさつ) 東蒲田で生まれ育っており、町の移り変わりをよく知っている。目の前が母校で、地元で子育てし、平成元年から平成13年までスポーツの分野、PTAの子育てを中心とした活動など、社会教育の場面で活躍してきた。旧教育委員会で行ってきたことも存じている。 これからの社会は、女性の意識改革も含め、積極的に情報を共有しな

がら、より良い社会環境をつくって必要がある。限られた時間ではあるが、皆さまと自由な議論をさせていただきたい。

4 資料の説明

(事務局から資料確認と説明)

配布資料1～5について説明。

本日は資料4と5を中心に議論していただく。

<資料1について>

国の第4次基本計画案について概略説明

<資料2について>

「女性活躍推進法」について概略説明

<資料3について>

第7期大田区男女共同参画推進プラン骨子の概要について説明

<資料4について>

前回会議で4グループに分かれ、「●●なまち おおた」について検討した内容をまとめたものである。4グループが正式に発表したものがA～Dである。グループ討議で模造紙に書かれた内容を整理したところ、共通するキーワードがあり、これをもとに事務局で4つの理念案を作成した。計画には理念をきちんと定めることが大事だと思う。

本日はこの4つの中から1つに絞っていただく。修正もあるかもしれないが、その結果を尊重していきたい。4つの案のいずれも男女共同参画がストレートに想定できるようにサブタイトルとして、例えば「おおたの男女共同参画社会をめざして」というようなフレーズを追記したいと考えている。

<資料5について>

現時点でのプランの体系案である。理念→目標→課題→施策の方向と
いうように細分化していくイメージでとらえていただきたい。

施策の方向の下に区役所の各所管が実施している事業が付く。意見を
いただきたい。

5 第7期男女共同参画推進プラン策定について

(萩原会長が進行)

課長から説明があったように、この計画は区民の計画である。

(1) 基本理念

事務局案として4つあり、参加型の合意形成ゲームで進めたい。

(ルール説明)

(グループ発表)

◇西川委員グループ

1位③、2位④、3位①、4位②

4位：②の集うは場のことか何のことかよくわからない。出番があるか。

あればよいが、タイトルとしてわかるか疑問。

3位：①は抽象的。漠然としすぎている。具体的な方がよいと思う。

2位：④の次の世代とは誰なのか？今の世代も大事にしたい。

1位：③④に関連し、一人ひとりが生きやすい世にしてほしいという思い

があるため。

◇加藤委員グループ

1位①、2位②、3位はなし（①と同じ）、4位③

1位：①と③の誰もが認め合うが共通で、同じことを言っていると理解した。格差社会になっているので、やはり誰もが認め合うことが現実として必要である。

2位：②現在生きている人にそれぞれ出番があり、活躍できることが必要であると考えた。

3位：④次世代をつなぐということで次世代も大事だが、やはり現代の人にも重要であろうと考えた。

◇飯島委員グループ

1位③、2位④、3位①、4位②

1位：③誰もが認め合うことがポイントだと思ったが、最終的に笑顔がつながるのがいいと考えた。①と③を合わせて「誰もが認め合い、笑顔がかがやき、つながるまち おおた」という新しい案も出た。

（萩原会長）

かとうさんチームの①と③は同じということなので、③の「誰もが認め合い、笑顔がつながるまち おおた」が合意を得られた案となる。

(2) 施策体系

4つの島をつくり、ワールドカフェ方式で行いたい。今回は各島にコーラー（大田区役所の職員）を一人ずつ置き、お悩み相談会とする。職員は島に残る。

（4グループで各柱（目標）を協議、第1～第3（最終）ラウンドを実施）
（グループ発表）

◇基本目標Ⅰ

- ・「④生活上の困難を抱えた女性への支援」は、当初はシングルマザーを想定していたが、今はいろいろな人がいるので、そういう人たちをどうつなげていくかが課題である。
- ・「DV」は貧困の原因でもあるし、結果でもある。予防のための教育が大切である。

◇基本目標Ⅱ

- ・子育てと介護に必要なアイデアをいただいた。例えば、パートタイマーも利用できるような企業内の保育所の充実で、中小企業への支援が必要である。
- ・介護では深刻な問題がある。専門家が介護すると収入になるが、家族介護では収入にならない。

◇基本目標Ⅲ

- ・個々の意識の改革が必要である。
- ・男性の働き方をそのまま女性に求めてもだめだ。
- ・女性が目指せるようなロールモデルがない。
- ・女性自身がリーダーになる意識が不足している。改革が必要。全体的

な意見となってしまったので整理したい。

◇基本目標Ⅳ

- ・「課題7 地域との協働の推進」についての意見が多かった。
- ・地域に求めることが多く、うれしいことではあるが、携わっている人材が不足している。
- ・退職者が増加しているが、活躍する場がない。地域の受け入れ態勢をつくってほしい。また、行政としては地域デビューするきっかけをつくり、地域と地域をつなぐコーディネーターの役割が大事である。
- ・相談窓口も区役所だけでなく、各地区の出張所を使い、出前講座などいろいろな形でやってほしい。
- ・そのような場所を広報する（正しく知ってもらう）方法は、若い世代にはネットを使うなど、さまざまなツールで周知する。

(萩原会長)

限られた時間の中でたくさんの意見をいただいた。次の会に盛り込めるものを盛り込んでいただく。今回こういうやり方は難しいと感じた。すべてにつながってくるものがある。町内会の話はすべてにつながるが、四角の枠に入れようとする分野がある。手書きのつながりを作成したらどうか。

今日はコーラー方式で実施した。一人の悩みを持っている方を置いて、そこに移動して聞きながら進めるやりかたである。今までなかった話も出たと思う。がんばっていただいた。感謝したい。

6 閉会

(人権・男女平等推進課長あいさつ)

いただいたご意見は事務局でまとめたい。現在関連部局と調整を行っているので、次回は冊子の計画素案を提示できるよう、努力している。よろしくお願ひしたい。

以上